

2023年度春季大会，秋季大会の松野賞受賞者について

2023年度春季大会において，松野賞候補者として口頭発表およびポスター発表合わせて34名のエントリーがあった．松野賞受賞者選定規程に基づき，発表が特に優秀であった下記7名（五十音順）に松野賞を授与した．

受賞者：岡崎 恵（京都大学）

題目：「雨滴粒径分布を表す新関数を用いた層状・対流

混合降雨の観測値解析」

受賞者：國吉優太（東京大学）

題目：「大気海洋結合モデルペースメーカー実験による氷期の数千年スケール大気海洋変動における大気－水循環の影響調査」

受賞者：澤田尚樹（京都大学）

題目：「海鳥バイオロギングで推定した海上風のアンサンプルデータ同化」

受賞者：清水 陸（京都大学）

題目：「GPM 衛星搭載二周波降水レーダのブラインドゾーン軽減による山岳域降水検出の改善」

受賞者：高野雄紀（東京大学）

題目：「熱帯における海面水温と関連した降水のライフサイクル」

受賞者：田之上菜美（東京都立大学）

題目：「衛星搭載に向けた直接検波式ドップラー風ライダーのシミュレーター開発」

受賞者：樋口太郎（東京大学）

題目：「大気海洋結合モデルを用いた現代～将来と過去の温暖期の水循環応答の違いに関する研究」

2023年度秋季大会において、松野賞候補者として口頭発表およびポスター発表合わせて109名のエントリーがあった。松野賞受賞者選定規程に基づき、発表が特に優秀であった下記24名（五十音順）に松野賞を授与した。

受賞者：青島美穂（富山大学）

題目：「高海面水温上での海上気温上昇の抑制」

受賞者：秋山静佳（京都大学）

題目：「GPM/DPR による固体降水の粒径分布推定」

受賞者：浅野裕樹（筑波大学）

題目：「非静力学効果を考慮したおろし風の理論」

受賞者：天野未空（三重大学）

題目：「気候変化から探る2010年以降冷夏が発生していない理由」

受賞者：飯田康生（京都大学）

題目：「クーリングパラメータと高解像度海洋モデルを用いた2019年台風 Faxai と Hagibis の通過に伴う SST 低下の定量化とその要因」

受賞者：石崎秀晃（京都大学）

題目：「再解析データを用いた Pekeris モードの等価深度の推定」

受賞者：猪股一馬（東京大学）

題目：「熱帯域における Congestus の降水と環境場との関係性について」

受賞者：今田衣美（九州大学）

題目：「逆問題による大気ラム波自動検出の試み」

受賞者：大友啓嗣（筑波大学）

題目：「東京における夏季の短時間強雨に対する都市の影響」

受賞者：小野有紀（富山大学）

題目：「単一レーダー高頻度観測に基づく3次元変分法による3次元風速場推定」

受賞者：川村 岳（東京大学）

題目：「北半球環状モード変動の季節内変調への ENSO の影響と将来変化」

受賞者：佐野蘭姫（東北大学）

題目：「大気環境を考慮した日本周辺における夜空の明度の定量的な評価（2）」

受賞者：周 習霊（北海道大学）

題目：「Synoptic characteristics of summer heatwaves over northeastern Siberia」

受賞者：杉浦冬悟（東京都立大学）

題目：「海洋大陸で衰退する MJO の東西循環構造」

受賞者：土田 耕（九州大学）

題目：「CMIP6 piControl 実験における放射フィードバック強度に関する解析：全球平均地表面温度の変化と放射応答のラグ関係の観点から」

受賞者：徳植啓康（名古屋大学）

題目：「降水粒子の非定常落下を考慮したドラッグ効果のモデル化」

受賞者：戸田 望（京都大学）

題目：「赤道大気レーダと境界層レーダを用いた降水

雲内の大気鉛直流の推定」

受賞者：中川祥緒（東京大学）

題目：「大気海洋植生結合モデルを用いた鮮新世と現代の気候差の要因分析：CO₂ vs 地理条件の違い」

受賞者：野村希良々（東京工業大学）

題目：「東京23区の乱流データベース作成」

受賞者：橋本恵一（東京大学）

題目：「地球システムモデル MIROC-ES2L における ENSO 表現と動的陸上植生の関係」

受賞者：畑 大地（新潟大学）

題目：「寒冷渦指標を用いた北陸冬季雷発生時の大気環境場変動」

受賞者：藤田 駿（京都大学）

題目：「乾燥大気大循環モデルは準二年周期振動を生み出すか？」

受賞者：三田優里（お茶の水女子大学）

題目：「大規模風速場が偏りをもたらす竜巻の進行方向」

受賞者：渡部太閤（琉球大学）

題目：「2022年台風第4号の盛衰に対する上層切離低気圧の役割」